

週刊 避難者応援情報紙

浜通り

1月30日発行 **Vol.389**





皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただく ための情報紙として、毎週お届けします。

1/26

南相馬市HP 「みなみそうまトピックス」から

小高交流センターがオープン

市小高区復興拠点施設「小高交流センター」が1月26日、オープンしました。

26、27日の両日は開所を祝う「にぎわい祭り」が開催され、大勢の皆さんでにぎわいました。



© City of Minamisoma

2ページをご覧ください。

目 次

「みな	システ	うま	١ ٣٠٠	ックス	1 ME
פיתטו	マン・ス	ノム	I ~ L :	ソンヘ	1 /J''

• 小高交流センターがオープン	2
• 南相馬市の中学生が	
台湾に行きました	3

●被災自治体News

南相馬西	Б	4
浪江町		4
双葉町		5
郡山市		7
福皇旦		a

●交流ルームひばり通信

幸蔵さんからいただいたお米を	
受け取りにお越しください	8
1月・2月の「ひばり」	10

SABETER TO SEARCES

南相馬市HP「みなみそうまトピックス」から

1/26

小高交流センターがオープン

市小高区復興拠点施設「小高交流センター」が1月26日、オープンしました。 26、27日の両日は開所を祝う「にぎわい祭り」が開催され、大勢の皆さんでにぎわいました。

開所式典では門馬市長があいさつし、渡辺博道復興大臣はじめ来賓の方が祝辞を述べました。 愛称「小高交流センター」を考案した小高産業技術高校1年の高橋晃大さんほか関係者がテ ープカットとくす玉割りをし、開所を祝いました。















© City of Minamisoma

南相馬市HP「みなみそうまトピックス」から

12/23 💷 ~27 🖚 南相馬市の中学生が台湾に行きました

台湾行政院客家(はっか)委員会から、東日本大震災で被災した子どもたちを台湾に招待したいとの申し出があり、南相馬市の中学生が招待されました。

■12月23日(日) 南相馬から台湾へ向け出発



出発式

■12月25日(火) 客家の里を体験

客家が居住する地域を巡り、地域の方々の手作り料理が振る舞われました。宿泊先

の民宿では、当日誕生住とがいるというとは、をののでは、では、これには、いいのでは、は、のは、いいのでは、のはでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいのでは、いいの



北埔老街散策 客家擂茶体験

■12月27日(木) 台湾ツアー無事終了

客家委員会およびお世話になった学生ボ

ランティアの 皆さんの見送 りを受け、日 本への帰路に つきました。



桃園国際空港での集合写真

●客家委員会

台湾政府の組織。客家(中国大陸北部から中国 南部や東南アジア、台湾などに移住した漢民族) の歴史文化を復興させるべく設立された。

■12月24日(月) 台湾総統府などを見学

総統府、台北101を見学し、街なか散策をしました。台北101では客家委員会副主委とお会いし、今回の招待に感謝の意を述

べるととも に、相馬野 馬追につい てPRをしま した。



鼎泰豊で昼食

■12月26日(水) 地元の小学生と交流

客家の観光地を巡るとともに、少数民族であるサイシャット族が居住する地域を訪問し、民芸品、民族衣装の着付けなどを体



サイシャット族衣装・踊り体験

© City of Minamisoma



南相馬市からのお知らせ



みなみそうまチャンネル

電話でのお問合せ TEL:0244-26-5663

(平日のみ 午前9時~午後5時)

南相馬市

今週の番組 60分 ※パソコン視聴

番組内容 [1/30~2/6]

- 1. オープニング&今週の番組「2分]
- 2. 平成31年 南相馬市消防団出初式「18分]
- 3. 石神中学生が見た騎士道の国 英国ロセット校訪問団出発式・帰国報告会「18分】





6. リクエストアワーのお知らせ[1分]





浪江町からのお知らせ

浪江町HP「町の話題」から

平成31年浪江町成人式

1月12日(土)、浪江町地域スポーツセンターにおいて、平成31年浪江町成人式が行われました。 式では、各地区の代表者に成人証書が手渡され、新成人代表の横山和佳奈さん(請戸地区)が誓いの 言葉を述べました。

浪江町の新成人は、男性116人、女性118人の計234人です。集合写真は、浪江地区の新成人 の皆さんです。







双葉町からのお知らせ

「国・県義援金第2次追加配分(7回目)」および 更新】

「双葉町義援金第7次配分」のお知らせ

1月25日HP更新

国および福島県から双葉町に配分された義援金と双葉町に寄せられた義援金について、東日 本大震災義援金双葉町配分委員会において配分内容が決定されましたので、皆さまに配分させ ていただきます。

配分額

国・県義援金:一人当たり 15,000円 双葉町義援金:一人当たり 3,000円

配分対象者

平成30年4月1日の時点で双葉町民の方(死亡された方は除く)および生活実態者。 ただし、平成23年3月12日以降に出生および転入された方は対象外となります。

配分方法

前回義援金を配分した口座へ振り込みます。

なお、振込口座を変更したい方、または、前回振込口座名義人が死亡、離別などにより変更す る方はご連絡ください。書類を送付します。

配分の時期

第1回 平成30年12月21日

第2回 平成31年2月末日頃

※第1回と第2回に振り込みがなくても、今後も順次振り込み予定です。

問い合わせ

健康福祉課 福祉介護係

0246-84-5205

双葉町HP「ブログふたばのわ」から

【ありがとうメッセージPick Up】#043 物資を支援してくれた母校の仲間への感謝

震災当時、双葉町社会福祉協議会の職員としてデイサービスの業務に従事していた北村雅さん。 震災直後は一晩中、帰れずにいる利用者の方や津波被災地区から避難した方の対応を行っていたそうです。

双葉町を離れてから川俣町、郡山市と避難所を点々とし最終的に旧騎西高校に避難した北村さん。その避難経路は全てデイサービスや老人ホームの利用者の方と同じものでした。

避難所で徘徊してしまう利用者の方に気を配ってくれた方や、社会福祉協議会に対して物資を支援してくれた母校の仲間たちなど、避難した先々でさまざまな支援を受けたとお話してくれました。

社会福祉協議会職員として行動を続けてきた北村さんならではのメッセージです。ぜひご覧ください。

https://youtu.be/2r1t8CSWaVo





【ありがとうメッセージPick Up】#044 避難先でのご縁や支援物資に添えられた思いに感謝

何の前ぶれもなく始まった避難生活。生活に必要なものを何一つ持たない避難者にとって、支援物資は単なる物品ではなく心の支えとなっていたのかもしれません。

「いただいた夫婦茶碗などは今でも使っている」そう語るのは鶴島伸予さんです。ご子息の紹介で避難した郡山市。近所に住む見ず知らずの女性が、食器や食べ物など当時不足していたものを、初対面にもかかわらず惜しみなく提供してくれたといいます。聞けばその女性は鶴島さんの亡き実母と同い年。きっとご縁があったからこそお会いできたのだろう。鶴島さんのありがとうメッセージは出会いへの感謝で満ち溢れています。

「良いことをしていれば回り回って自分に返ってくる」震災で多くの経験をした方の言葉には納得せざるを得ない力があります。皆さんもぜひご覧ください。 ______

https://youtu.be/vv-s6wSpQg4









総務省「全国避難者情報システム」に登載されている

郡山市から他市町村への避難者数について

1月29日HP更新

10月1日現在で総務省「全国避難者情報システム」に登載されている郡山市から他市区町村への避難者数は下記のとおりです。

なお、避難者数は、避難者からの任意の届け出により集計したものです。

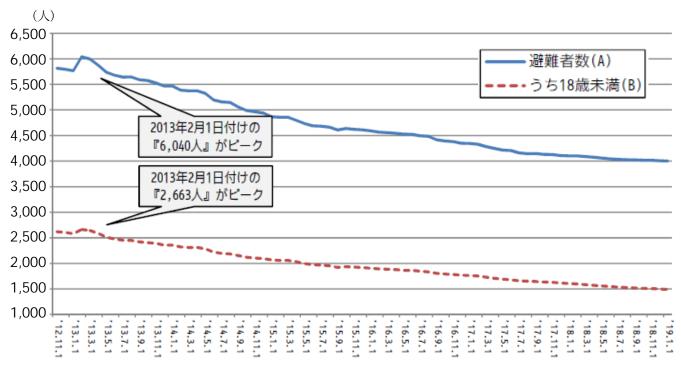
避難者数

(1) 総計 4,002人 (県内70人 県外3,932人)

(2) 避難者のうち18歳未満 1,490人 (県内32人 県外1,458人)

※ 平成30年12月1日現在の避難者数総計4,008人から6人減少しています。

避難者数の推移



問い合わせ

市民部 市民課

024-924-2131

郡山市HP「市長フォトメッセージ」から

郡山中央スマートインターチェンジ開通式典

1月13日(日)、東北自動車道郡山中央スマートインターチェンジが完成し、開通式典を行いました。

市内5つ目となるインターチェンジで、市街地へのアクセス性が向上し、緊急救命輸送および災害発生時の支援活動の円滑化が期待されます。



※上り線側、下り線側から乗り降りできる方向は限られていますので 誤進入にご注意願います。



交流ルームひばり通信

幸蔵さんからいただいたお米を 受け取りにお越しください

受取期限 **2月3日(日)**

交流ルーム「ひばり」開設時間内

※裏表紙のカレンダーで確認ください。

受取場所 交流ルーム「ひばり」

※お米は、ご家族1人につき1袋(5kg)です。

※期間内に受け取れない場合は、 交流ルーム「ひばり」まで必ずご相談ください。

※ご連絡がないまま期限を過ぎてしまったお米は、 適切な方法で有効に使わせていただきますので、 ご了承ください。 引換券を 必ずご持参ください。

問い合わせ 交流ルーム「ひばり」 TEL **0256-33-8650**

(人) 福島県からのお知らせ

平成30年度 3.11ふくしま追悼復興祈念行事

1月29日HP更新

東日本大震災追悼復興祈念式

東日本大震災の犠牲者へ哀悼の意を捧げ、復興への思いを新たにするため、「東日本大震災 追悼復興祈念式」を下記のとおり開催します。

- (1) 日時 3月11日(月) 午後2時30分~3時40分
- (2)場所 とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)(福島市春日町5-54)
- ※ 一般の方も式典に参列可能です。(事前の申し込みは不要です。)
- ※ 祈念式終了後に一般献花を行います。 午後3時45分頃~4時30分に、上記式典会場で献花が可能です。 献花用の花は会場で用意してしますが、その数には限りがあります。

キャンドルナイト

東日本大震災の犠牲者を追悼し、復興への思いを新たにするため、キャンドルを灯します。

- (1) 日時 3月11日(月) 午後5時30分~7時30分
- (2)場所 福島駅東口駅前広場(福島市)

※昨年度の様子





※上記会場の他、下記の各会場でも開催予定です。

○3月9日(十) 県立博物館(会津若松市)

○3月10日(日)、11日(月) 」ヴィレッジ(楢葉町)

○3月11日(月) ビッグパレットふくしま(郡山市)

白河市立図書館りぶらん(白河市)

平中央公園(いわき市)

問い合わせ) 企画調整課 111024-521-7108

1月・2月の『ひばリ』

B	月	火	水	π	金	±
★版画教室 第2·4水曜日午前10時~正午				1/31	2/1	2
★茶話会&簡単な手芸教室 第1・3・5水曜日午前10時~午後2時 気軽に参加ください。				ひばり休み浜通り配布		ひばり休み
3	Ц	5	6	7	8	9
		ひばり休み	茶話会	ひばり休み浜通り配布		ひばり休み
10	11	12	13	14	15	16
	建国記念の日	ひばり休み	版画教室	ひばり休み浜通り配布		ひばり休み

問い合わせ

交流ルーム ひばり (総合福祉センター内)

TEL 0256-33-8650

E-mail hibari_sanjo_nyh@yahoo.co.jp

[運営時間] 日・水・金 午前10時~午後2時 月 午前10時~正午

被災自治体 問い合わせ先一覧

市町村名	電話番号	以下の町は役場機能が移転しています。		
南相馬市	0244-22-2111			
浪江町	0240-34-2111	双葉町:双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町2-19-4)		
双葉町	0246-84-5200			
郡山市	024-924-2491			

三条市に避難している 世帯数と人数(2019.1.30現在)

市町村名			世帯数	人数
小高区		20	48	
	原町区		4	7
南相馬市 計		24	55	
浪江町			3	11
双葉町			1	3
郡山市		4	9	
	合 計		32	78